

「ボランティア交流会『わかさんピース』」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
60名	60名	60名	60

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・ ボランティア養成セミナーで学んだ内容のステップアップとして青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深める。
- ・ ボランティア活動に対する意欲を高める。
- ・ 当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。

◆期日・期間

2016年9月10日（土）～ 2016年9月12日（月） 2泊3日

◆後援・協力団体

なし

◆参加者分析

- ・ 若狭湾のボランティアが中心となって、企画を進め、フェイスブックなどのSNSを使い、全国のボランティアに声をかけて、参加者を募った。

◆企画のポイント

日にち	午前	午後	夜	宿泊棟
9/9 (金)		17:00 前泊到着 ※迎え希望	準備・ミーティング (宿泊棟)	4、5号棟
9/10 (土)	10:00 受付※迎え希望	開海式 アイスブレイキング(大浜)	CF(大浜)・旗づくり ※職員支援希望 荒天:CS(トビーH)	4、5号棟
9/11 (日)	KI, SK 荒天:トビーH	KI, SK 荒天:トビーH	夕べのつどい(大浜) ふりかえり(オリ室)	4、5号棟
9/12 (月)	CT② 12:30 閉海式 荒天:SG(プレイH等)	12:30 出発 ※送り希望		

- ・ アイスブレイクの時間を多くとり、活動への導入に配慮した。
- ・ 1日目に旗づくりをして、2日目の組立いかだでそれを掲げながら航行するという物語性を持たせた。

◆運営のポイント

- ・ 企画運営をボランティアが行い、施設職員はアドバイス、サポートメンバーとして関わった。海の活動であるシーカヤックとカッターについては、施設職員が直接指導して、運営するボランティアがサポートに回った。

◆安全管理のポイント

- ・ 事前の打ち合わせを重視して、運営するボランティア、施設スタッフが様々な安全管理について共通理解を図った。
- ・ シーカヤック、キャンプファイヤーでは指導者を適切に配置することで、実習中の安全を図った。

3. アンケート結果

(1) アンケート

参加者	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	97%	3%	0%	0%
この事業のプログラムはどうでしたか	91%	9%	0%	0%
この事業の運営はどうでしたか	88%	10%	2%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

- ・多くの人と関われる良い機会となりました。
- ・海を使ったプログラムが本当に素敵でした。
- ・初めての経験が多く、また少し知識見聞が広まった。

4. 成果と課題

(1) 成果

若狭湾ボランティアが前面に出て、職員はサポートに回る体制での実施となった。学生が進行することもあり、他の職員の方の協力で有意義な3日間になった。企画側はスキルアップを図れ、参加者側もその苦勞を垣間見ること企画運営を知る良い機会となった。

(2) 課題

施設側が音頭をとるのではなく、自主性をできるだけ尊重して取り組むことが大切であると考えてるので、次年度以降も直前に計画ができることが考えられる。

5. 活動の様子



